

安全データシート

ロンテクト

整理番号:LO-008

改定:2023年4月1日

1. 化学物質等及び会社情報

製品名	ロンテクト
推奨用途	動物用医薬品
会社情報	
製造販売元	
会社名	株式会社科学飼料研究所
住所	東京都中央区八丁堀三丁目3番5号
担当部署	薬事部 安全管理課
電話番号	03-6478-2555
FAX番号	03-6478-2390

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体

分類できない

金属腐食性物質

区分1

健康に対する有害性

急性毒性(経口)

分類できない

急性毒性(経皮)

分類できない

急性毒性(吸入:気体)

区分に該当しない(分類対象外)

急性毒性(吸入:蒸気)

分類できない

急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)

分類できない

皮膚腐食性／刺激性

区分1

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

区分1

呼吸器感作性

分類できない

皮膚感作性

分類できない

生殖細胞変異原性

分類できない

発がん性

分類できない

生殖毒性

区分2

生殖毒性・授乳影響

分類できない

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

区分1(中枢神経系、全身毒性)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

区分1(血液系)

区分2(呼吸器系、脾臓、肝臓)

分類できない

誤えん有害性

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性)

区分1

水生環境有害性 長期(慢性)

区分3

オゾン層への有害性

分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
中枢神経系、全身毒性の障害
長期にわたる又は反復ばく露による血液系の障害
長期にわたる又は反復ばく露による呼吸器系、脾臓、肝臓の障害のおそれ
水生生物に非常に強い毒性
長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は手指等をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
環境への放出を避けること。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

【応急措置】

特別な処置が必要である（このラベルの4.応急措置を見よ）。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。直ちに嘔吐して、医師の診察を受けること。
皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
直ちに医師に連絡すること。
気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
漏出物を回収すること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
情報なし

国/地域情報

3. 組成、成分情報

单一物質・混合物の区別

混合溶解製品

組成及び成分情報

化学名または一般名	濃度または濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS No.
			化審法	安衛法	
ジデシルジメチルアンモニウムクロリド	9.975%	C1C ₂₂ H ₄₈ N	2-184	-	7173-51-5

4. 応急措置

吸入した場合：

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

直ちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合：

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

直ちに医師に連絡すること。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合：

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合：

口をすすぐこと。

直ちに嘔吐して、医師の診察を受けること。

意識のない人の口には何も与えないこと。

5. 火災時の措置

適切な消火剤:

水スプレー(水噴霧)、二酸化炭素、泡、粉末消火剤、砂
使ってはならない消火剤:

利用可能な情報はない

火災時の特有の危険有害性:

熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。

特有の消火方法:

火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。

消火作業は、可能な限り風上から行う。

消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

関係者以外の立入りを禁止する。

周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置:

個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装置を着用する必要がある。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。

環境に対する注意事項:

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されず、環境へ排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材:

少量の場合、吸着剤(おがくず、土、砂、ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。

多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

回収、中和:

利用可能な情報はない

二次災害の防止策:

環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。火花を発生しない安全な用具を使用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

保管:

施錠して保管すること。

小児の手の届かないところに保管すること。

本剤の保管にあたっては、品質を保持するため、直射日光、高温及び多湿を避けること。

誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。

誤用の危険性があるため、食品用の容器に小分けして使用又は保管しないこと。

使用者に対する注意:

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

散布または噴霧中には、マスク、ゴーグル、ゴム手袋等の保護具を必ず着用し、薬液を吸い込んだり、眼や皮膚に付着しないように注意すること。

発泡消毒に用いる希釈液は濃厚液であるので、特に注意して作業をすること。

消毒作業をする際は換気に十分注意すること。密閉した畜鶏舎での作業や長時間にわたる連続作業は避けること。

使用後は手指等を水でよく洗い、よくうがいをすること。

本剤または本剤の濃厚希釈液が皮膚、眼、飲食物、飼料、被服、小児のおもちゃ等に直接かかるないように注意すること。

水酸化ナトリウムまたは水酸化カリウムを添加・溶解するときには、ゴム手袋をはめて、水酸化ナトリウムまたは水酸化カリウムに直接手が触れないようにすること。

アレルギー体質者等で発赤、搔痒感等の過敏症状が現れた場合には、直ちに使用を中止すること。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	: 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。 適切な排気換気装置を使用する。
管理濃度	: イソプロピルアルコール 200ppm
許容濃度	
日本産業衛生学会	: イソプロピルアルコール 最大許容濃度400ppm (980mg/m ³)
ACGIH	: イソプロピルアルコール TLV-TWA 200ppm, TLV-STEL 400ppm
保護具 呼吸用保護具	: マスク
手の保護具	: ゴム手袋等
眼の保護具	: 保護眼鏡又はゴーグル
皮膚及び身体の保護具	: 長袖の作業着

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 発泡性のある液体
色	: 無色～淡黄色透明
におい	: 特異な臭い
沸点	: データなし
比重	: 約1.0
pH	: 6.0～8.0
粘度	: 約20cps(20°C)

10. 安定性及び反応性

引火性	: データなし
発火点	: データなし
可燃性	: 水が蒸発し高温になると燃えることがある。
金属の腐食性	: 水と同程度の腐食性がある。
安定性・反応性	: 引火性のガスが発生する。

11. 有害性情報

(人についての症例、免疫学的情報含む)

急性毒性:

経口 ラット LD ₅₀	2,279 mg/kg(雄)	3,015 mg/kg(雌)
皮下 ラット LD ₅₀	10,500 mg/kg(雄)	6,000 mg/kg(雌)
経皮 ラット LD ₅₀	>4,000 mg/kg(雄)	>4,000 mg/kg(雌)
吸入 ラット LC ₅₀	585～935 mg/m ³ (雄)	1,281 mg/m ³ (雌)

刺激性:

本剤の高濃度品は人又は動物の各種粘膜及び皮膚を刺激し炎症を起こすことがあるので、このようなことがあった場合は直ちに水による洗浄等で除去する必要がある。

12. 環境影響情報

汚水処理施設:

本剤又は本剤希釈液の大量流入で汚水処理施設の機能を損なう(細菌が死滅する)恐れがあるので、直接流入しないようにする。

魚毒性等:

魚毒性がある。

ヒメダカ LC ₅₀	7.20 mg/L (48時間)、6.65 mg/L (96時間)
コイ LC ₅₀	2.75 mg/L (48時間)、2.68 mg/L (96時間)

本剤又は本剤濃厚希釈液が魚類等の棲息する河川、湖沼等に直接流入し生態系に悪影響をおよぼさないよう環境に配慮する。

植物への影響:

植物系に対して無差別に枯化させる性質があるので注意する。

13. 廃棄上の注意

内容物:

本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

空容器:

使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。

14. 輸送上の注意

取扱い及び保管上の注意の記載事項による他、容器の破損がないように運搬する。

15. 適用法令

薬機法	:動物用医薬品
化学物質排出把握管理促進法	:第一種指定化学物質 ジデシルジメチルアンモニウムクロリド
化学物質審査規制法	:優先評価化学物質 ジデシルジメチルアンモニウムクロリド イソプロピルアルコール
大気汚染防止法	:揮発性有機化合物 イソプロピルアルコール
海洋汚染防止法	:有害液体物質(Z類) イソプロピルアルコール

16. その他の情報

参考文献 独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS混合物分類判定ラベル/SDS作成支援システム
(NITE-Gmiccs)

その他の情報

本データシートに示した情報は、我々の知る限り、作成した時点で正確なものです。なお、本剤は動物用医薬品としての使用上の注意(一般的注意、使用者に対する注意、対象動物に対する注意、取扱い上の注意、保管上の注意、その他の注意)が定められていますので、直接包材(又は添付文書)の記載事項を良くお読みの上ご使用ください。記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上でご使用ください。